

## ベトナム第 8 次電力計画に太陽光発電 142 件追加

2025 年 4 月 3 日 作成

カテゴリー ベトナム市場調査 環境・再生可能エネルギー

### ベトナム第 8 次電力計画に太陽光発電 142 件追加

#### ベトナム第 8 次電力計画に太陽光発電 142 件追加

ベトナム商工省は 2025 年 3 月 5 日、決定第 618/QĐ-BCT を発表し、ベトナム電力マスタープラン（第 8 次電力開発計画）に 142 件の太陽光発電プロジェクトを追加した。これらはすべて 2025 年 1 月 13 日以前に商業運転（COD）を開始しているプロジェクトである。今回の追加は、2023 年末にベトナム政府監査機関が指摘した、根拠の不明確な 154 件の承認に関連しており、そのうち 123 件が電力供給の不均衡や社会的資源の浪費を引き起こす原因とされていた。

ベトナム政府は違法行為の正当化を避けつつ、実務的な解決策を講じる方針を掲げており、今回の追加はその一環である。特にニントゥアン省では、Trung Nam（204MW）、CMX Renewable（168MW）、BIM 2（250MW）、Phước Minh（450MW）など、ベトナム国内でも大規模な太陽光発電所が集中している。他にもビントゥアン省、ダクラク省、ロンアン省、バリア＝ブントウ省などに多数の案件がある。中でもダクラク省イアスップ地区に設置された Ea Súp 1～5 の太陽光発電所は、総出力 600MW を誇る。

ベトナム証券会社 Vietcap によれば、今回の方針は投資家の信頼回復と資金誘致に好影響を与える と評価されている。特に Trung Nam Group やハドーグループ（HDG）にとっては好機となる。HDG が手掛けるビントゥアン省の Hồng Phong 4 プロジェクト（48MWp）は、独自の追尾式太陽光技術により発電効率を高めているが、同地が国家指定のチタン保留地であることから価格優遇（FIT）対象外とされていた。

HDG はこの件により約 2000 億ドンの引当金を計上したが、今回の電力計画への追加により、価格決定が進む可能性があり、今後の業績改善が期待されている。

以上